

遺伝カウンセラーコース院生募集

新しい分野に挑戦したい意欲のある方の応募を期待します。コース履修者は看護師、臨床検査技師、薬剤師など医療系の資格を持っていることが望ましいですが、分子生物学・生命科学などの理系出身者、臨床心理士などの文系出身者など幅広いバックグラウンドをもつ学部卒業生及び、実務経験と問題意識のある社会人にも平等に扉をひらいています。

●ご注意

正式の募集要項は、京都大学大学院医学研究科のHP (<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/>) に掲載していますので、必ずご参照ください。

●入学願書請求

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町

京都大学大学院医学研究科 教務・学生支援室

(大学院教務掛) 宛 (TEL:075-753-4306)

●必須事項

受験希望の方は、願書提出前に、必ずメールで下記のコースディレクターにコンタクトしてください。

コースディレクター：ゲノム医療学 特定准教授 川崎秀徳

E-mail: hdnrkawasaki@kuhp.kyoto-u.ac.jp

●募集人数：若干名

●出願期間：毎年 7 月中旬

●入学者選抜方法

学力試験・口頭試問・志望理由書・成績証明書より、総合して判定します。

●入学者選抜試験

社会健康医学系専攻 専門職学位課程と同時に入学試験を行います。社会人特別選抜はありません。

毎年 8 月下旬

外国語 (TOEIC など外部試験を利用) 筆答、社会健康医学 (2 問選択) + コース専門問題 1 問 筆答、口頭試問

●合格発表：毎年 9 月上旬～中旬

オープンキャンパス

毎年 5 月ごろ実施

@京都大学医学部構内

<http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/oc.html>

教職員一同、お待ちしております。

遺伝カウンセラー (Genetic Counselor)

遺伝医学の進歩に伴い、先天性の疾患のみならずがんや生活習慣病など幅広い疾患の遺伝学的基盤が明らかとなりつつあり、医療における遺伝カウンセリングの重要性が高まっています。

遺伝カウンセリングは遺伝医学情報の提供のみならず、クライアント (来談者) のかかえるさまざまな問題解決の援助を行う心理的な対応技術が必要とされ、また倫理的判断力が要求されます。

これらを医師と協力しつつも、医師とは独立した立場で行う専門職としての遺伝カウンセラーの必要性が強く叫ばれ、2002 年に遺伝医療の現場でカウンセリングを行う能力のある医師を臨床遺伝専門医として認定する制度が発足したのを受け、2005 年度からは日本人類遺伝学会と日本遺伝カウンセリング学会とが協力して制度化した認定遺伝カウンセラーの認定試験が開始されました。

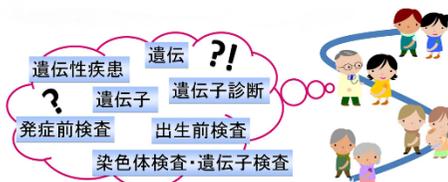
専門教育機関の専門課程を修了した方々が認定遺伝カウンセラー認定試験に合格することにより、認定遺伝カウンセラーを呼称し、全国の医療機関・研究施設などで遺伝カウンセリングを実施することになります。

遺伝カウンセリングの定義

遺伝カウンセリングとは、遺伝病の当事者や関係者が、遺伝病の持つ医学的、心理的、家族的影響を理解し、それに適応できるように援助するプロセスである。

このプロセスは、以下を統合したものである。

- 疾患の発生もしくは再発の可能性を評価するための家族歴および病歴の解釈
- 遺伝、検査、マネジメント、予防、資源、および研究についての教育
- リスクもしくは状況に対するインフォームドチョイスと適応を促進するためのカウンセリング (米国遺伝カウンセラー協会 2006 年)



京都大学

大学院医学研究科

社会健康医学系専攻

遺伝医療学分野

遺伝カウンセラーコース

(修士課程相当)



院生募集



京都大学 遺伝カウンセラーコース (修士課程相当)



遺伝カウンセラーコースの概要

ゲノム・遺伝情報を利用した医療、遺伝薬理学情報に基づいたテーラーメイド医療に対応できる高度な専門的医知識と技術ならびにコミュニケーション能力をもち、患者・家族の立場を理解して新医療とのインターフェイスとなりうる人材を総合的に養成します。

遺伝カウンセラーコースの特徴

- 1. 充実したスタッフ**
この分野でトップレベルの多数の指導者が、社会健康医学系専攻の教員とともに充実した専門教育を行います。
- 2. 社会健康医学の幅広い素養**
社会健康医学コア科目を履修することにより、修了時には社会健康医学修士(専門職)(Master of Public Health; MPH)の学位が授けられます。
- 3. 充実した実習**
現場での実習に特に重点を置いており、京都大学医学部附属病院遺伝子診療部などでの充実した実習が可能です。
- 4. 資格認定試験受験資格**
コース修了後、「認定遺伝カウンセラー」資格認定試験受験資格が得られます。
- 5. 卒業後の活躍の場**
大学病院、国立・公立の研究所や病院、不妊クリニック・産科クリニックなどの医療機関や、臨床検査会社などがあります。博士後期課程へ進学し研究を継続することも可能です。

京都大学における遺伝カウンセラーコースの位置付け

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻は、日本で初めての「公衆衛生大学院 (School of Public Health)」として、医学・医療と社会・個人・政策のインターフェイスとなる新しい社会医学の学問領域を形成し、専門家を育成することを目的として、2000年に設置されました。遺伝カウンセラーコースは、この医学研究科社会健康医学系専攻専門職学位課程の特別コースとして、2006年に開設されました。

カリキュラム

| 1年次前期 | 1年次後期 | 2年次前期 | 2年次後期 |
|--|--|------------------------|-------|
| 遺伝医学専門基礎科目 ・遺伝医療と倫理・社会 ・基礎人類遺伝学 ・臨床遺伝学・遺伝カウンセリング | 演習科目 ・ロールプレイ演習 ・基礎人類遺伝学演習 | 集中講義 ・遺伝医学特論 | |
| ゲノム科学関連専門科目 ・文献検索法 ・文献評価法 | | ・ゲノム科学と医療 ・医療倫理学各論 | |
| 遺伝カウンセラー特別科目 ・遺伝カウンセラーのためのコミュニケーション概論 | | | |
| | | 遺伝カウンセリング実習 | |
| 遺伝カウンセリング合同カンファレンス | | | |
| 学会・セミナー参加 | | | |
| 社会健康医学系科目・非医療系科目 | | | |
| | | 課題研究 | |

* コースの詳細やキャンパスライフなどその他の情報については、**遺伝カウンセラーコース HP と facebook ページ**にも掲載しています

HP: <http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/gccrc/>

facebook: <http://www.facebook.com/kusphgcc>



HP



facebook